

第 89 期 中 間 報 告 書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message	1
事業の概況	3
事業紹介	5
業績の概況	8
株式の状況	9
会社概要	10

株式会社 **テクノスマート**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第89期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向にあるものの、収束にはまだ時間がかかるものと思われます。これまでG7の中で日本だけが入国制限を続けておりましたが、日本政府が今年の10月より海外からの入国者数の上限を撤廃したことで、今後はwithコロナとした経済の回復が加速されるものと期待されます。

ウクライナ情勢は欧米対ロシアによる消耗戦となっており、解決策を見いだせないまま長期化していることから、世界的なエネルギー不足・食糧不足・物価の高騰を引き起こしております。

米国では、過去最大規模の気候変動対策を盛り込んだインフレ抑制法案（IRA）が今年の8月に可決され、産業界においては中国・ロシアなど政治的に対立する国を排除する動きが強く、今後こうした対立が更にエスカレートする懸念もあり先行きは不透明です。

このような状況下において、当社は大きな成長が見込まれる車載用リチウムイオン二次電池の電極用、セパレータ用及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末用の光学フィルム、タッチパネル用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は10,716百万円（前年同期比92.7%増）、営業利益は1,261百万円（前年同期比376.2%増）、経常利益は1,284百万円（前年同期比332.3%増）、四半期純利益は877百万円（前年同期比345.3%増）となりました。

受注高は10,440百万円（前年同期比39.5%減）、受注残高は24,187百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

当社と取引の多い中国では依然としてゼロコロナ政策がとられており、地域によってはロックダウンが実施され、コロナ以前の状況に戻るにはまだ時間がかかるものと思われます。

また、今年の春先から顕著になった電気部品の長納期化が依然として続いており、先行きは不透明な状況となっております。そのため、電気部品の納期が製作工程上のボトルネックとなっており、受注納期が大幅に延びてしまうことで受注活動に大きな影響が出ております。

このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、第5世代通信向け先端材料や全固体電池などへの取り組みも積極的に行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

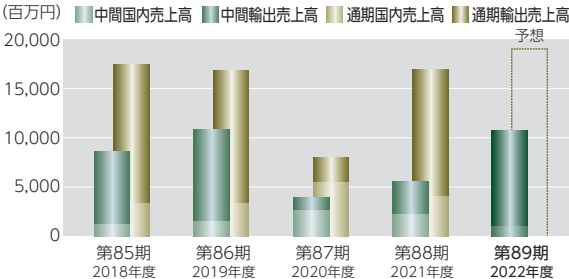
柳井 正巳



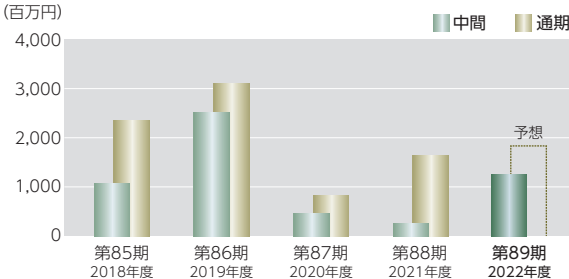
5 年間の推移

売上高・営業利益・当期純利益の増加

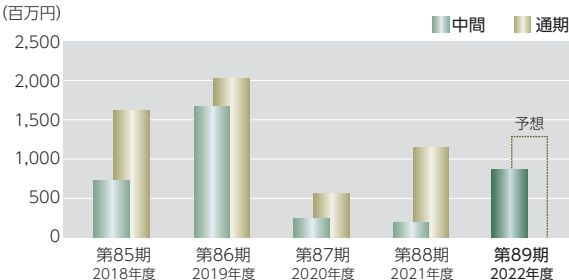
国内売上高・輸出売上高



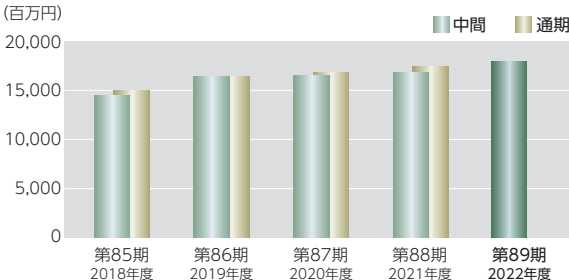
営業利益



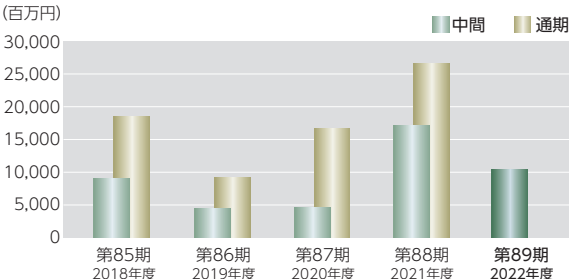
当期純利益



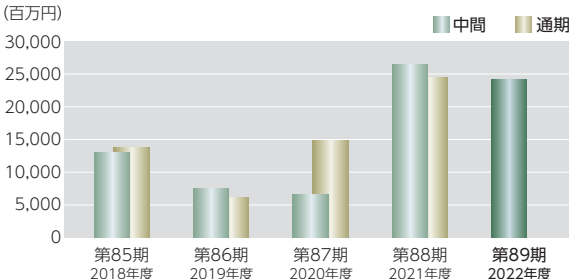
純資産額



受注高



受注残高



2023年3月期 業績予想

売上高	19,000 百万円	営業利益	1,840 百万円	当期純利益	1,300 百万円
-----	------------	------	-----------	-------	-----------

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔 経 営 理 念 〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経 営 理 念

環 境 理 念

独 自 理 念

〔 環 境 理 念 〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本 方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔 独 自 理 念 〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
34.7%



エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
23.4%



機能性紙・フィルム関連塗工機器

一般産業資材用の紙・フィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
36.4%



化工機器

高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブラフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.2%



電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
2.1%



その他

各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
3.2%



「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適應。

CEDコーター



高品位塗工に對應クローズドコーティングシステム。

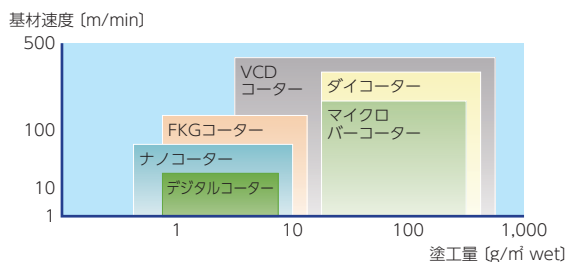
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に對應した設置場所を選ばないコンパクト設計。

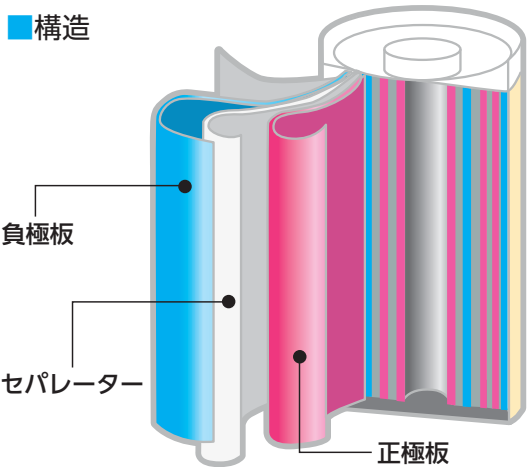
二次電池のご紹介

リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

【用途例】

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
- ・ノートパソコン、デジタルカメラ
- ・電気自動車、ハイブリッドカー 等

■構造



リチウムイオンバッテリー



円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池

▼使用箇所

- 正極板
- 負極板
- セパレーター



©scorp images - Fotolia.com

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

カバーガラス

ITO層

IMフィルム

ITO層

IMフィルム

偏光板

カラーフィルター基板

配向膜

液晶層

配向膜

アレイ基板

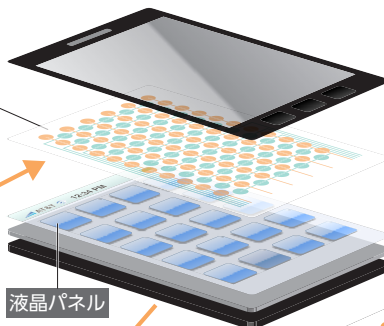
偏光板

指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)

絶縁体

ITO層
(X軸方向)



断面図

電気容量の
変化検知

絶縁体

タッチ位置の
検知イメージ

ITO層

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

ハードコートフィルム
(表面保護)

繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM（インデックスマッチング）フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板（偏光フィルム）
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

タブレット端末



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム

スマートフォン



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム
 - フレキシブルプリント基板

業績の概況

■貸借対照表 (2022年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	24,705,793	流動負債	11,413,272
現金及び預金	13,663,218	買掛金	1,649,917
受取手形、売掛金 及び契約資産	9,645,467	電子記録債務	6,024,064
電子記録債権	248,512	未払法人税等	434,511
棚卸資産	548,006	前受金	2,913,274
その他	607,420	引当金	241,730
貸倒引当金	△ 6,831	その他	149,773
固定資産	6,035,714	固定負債	1,382,366
有形固定資産	4,421,364	退職給付引当金	892,671
建物	2,218,752	資産除去債務	6,412
機械及び装置	101,043	その他	483,283
土地	2,001,209	負債合計	12,795,639
その他	100,358	純資産の部	
無形固定資産	46,321	株主資本	16,449,775
投資その他の資産	1,568,028	資本金	1,953,930
投資有価証券	1,194,868	資本剰余金	1,683,457
その他	373,159	利益剰余金	12,953,695
		自己株式	△ 141,307
		評価・換算差額等	1,496,093
		その他有価証券評価差額金	390,760
		繰延ヘッジ損益	8,225
		土地再評価差額金	1,097,107
		純資産合計	17,945,868
資産合計	30,741,507	負債・純資産合計	30,741,507

■損益計算書 (2022年4月1日から2022年9月30日まで) (単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 期		当 期	
売 上 高	5,562,184	100.0	10,716,246	100.0
売 上 原 価	4,886,973	87.9	9,040,703	84.4
売 上 総 利 益	675,210	12.1	1,675,543	15.6
販売費及び一般管理費	410,205	7.4	413,567	3.9
営 業 利 益	265,005	4.8	1,261,976	11.8
営 業 外 収 益	39,435	0.7	33,202	0.3
営 業 外 費 用	7,268	0.1	10,624	0.1
経 常 利 益	297,172	5.3	1,284,554	12.0
特 別 利 益	—	—	99	0.0
特 別 損 失	3,155	0.1	—	—
税引前四半期純利益	294,017	5.3	1,284,653	12.0
法 人 税 等	97,003	1.7	407,281	3.8
四 半 期 純 利 益	197,013	3.5	877,371	8.2

■キャッシュ・フロー計算書

(2022年4月1日から2022年9月30日まで)

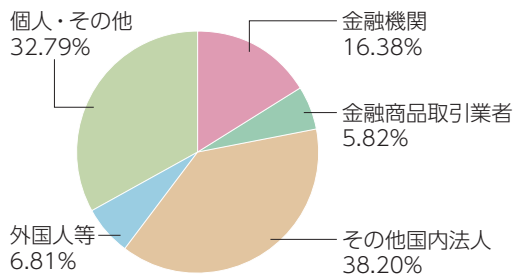
(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,248	3,355,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 392,455	△ 25,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 176,830	△ 305,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	87
現金及び現金同等物の増減額	△ 582,533	3,024,580
現金及び現金同等物の期首残高	10,361,183	10,538,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,778,650	13,563,218

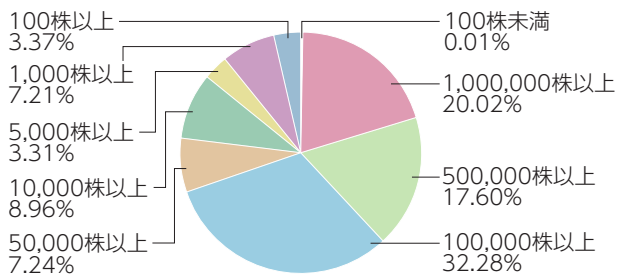
株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	12,401,720株
株主数	2,672名

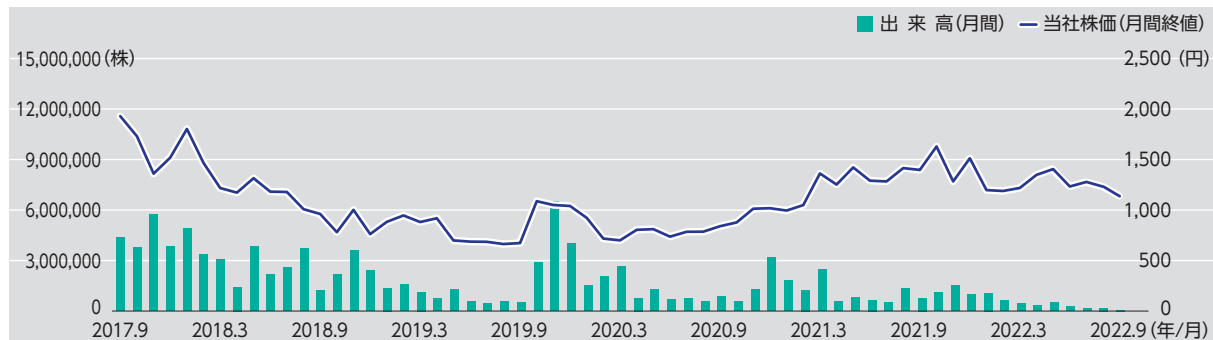
所有者別株式分布



所有数別株式分布



当社株価と出来高



会社概要 (2022年9月30日現在)

社 名 株式会社テクノスマート
創 業 1912年6月15日
資 本 金 19億5,393万円
本 社 所 在 地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
久太郎町恒和ビル2階
電 話 06-6253-7200 (代)
従 業 員 数 234名
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コー ド 6246
事 業 所 滋賀事業所
[滋賀県野洲市]
東京支店
[東京都中央区]



役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	柳	井	正	巳
常務取締役	飯	田	陽	弘
取締役	下	村	壽	一
取締役	榎	本	一	郎
取締役	西	宮	良	材
取締役*	青	木	透	
監査等委員				
取締役*	岡		健	治
監査等委員				
取締役*	平	松	亜	矢
監査等委員				

※は社外取締役であります。

株主・投資家情報サイト

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

■トップページ



click



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

トピックス

第10回 関西高機能フィルム展への出展

当社は、2022年5月11日(水)～5月13日(金)の3日間、インテックス大阪で開催された第10回関西高機能フィルム展に出展いたしました。

開催期間中、大勢の方々が、当社ブースを訪問され、盛況のうちに終了しました。



お知らせ

株主総会資料電子提供制度について

2023年3月以降に開催される株主総会より、株主総会資料の電子提供制度が始まります。

同封のリーフレットをご覧ください、今まで通り書面での招集通知をお受け取りになり、また株主様は、早めに書面交付請求のお手続きをお願いいたします。



※同封のリーフレット

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：<https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
[郵便物送付先/各種お問合せ先] 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
[受付時間 9：00～17：00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
ホームページ <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。